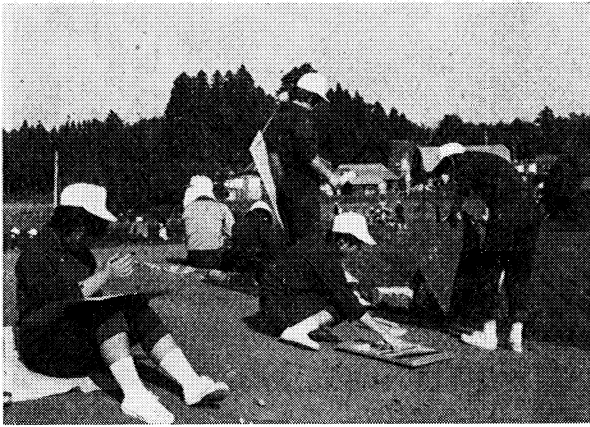


飯館村立飯樋中学校

愛校清掃 ▶

▼ 楽しい写生会



三 年

愛 沢 めぐみ

「なんて古びているんだろう」

そんなイメージを受ける飯樋中学校は、阿武隈山地のほぼ中央に位置する飯館村にあります。木造二階建ての校舎にちっともなまじまないサッシの窓。増築によってそれぞれ変わる壁の色。時には校庭に牛が散歩にくることもあります。全校生徒が百七十一人といえ、どんな山奥の村の小さな学校か、想像がつくでしょう。

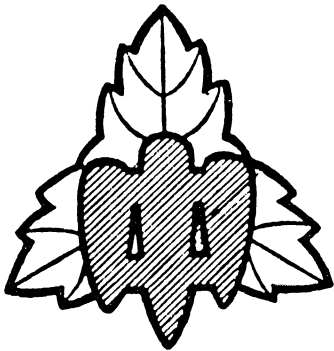
しかし、校舎は古くとも中味は温かいのです。数少ない生徒と先生がたとの親密感。校門から校舎までのサルビア、マリーゴールドの花道に象徴されるような一人一人の優しい心は、飯館ならではのものです。そして、なんととってもすばらしいのは自然です。おいしい水と空気、どこまでも澄みきった青い空に見守られ、絶えず緑は光り輝いています。小鳥はここ狭しとさえずり続け、夕方のカエルの声はまさに混声四部合唱さながらのものです。遠距離の生徒はバス通ですが、中には往復十数キロの道のりを、毎朝毎夕自転車で通っているガンバリ屋もいるのです。

また、今年は部活動が例年になく活躍ぶりで、相双大会、東北大会で優秀な成績を残しました。陸上競技、体

操、各種球技、合唱祭など、力およばずとも根っからのガンバリ精神で、笑顔の絶えないものになっています。

今年も冷害で、飯館村は大変なダメージを受けました。しかし、だからこそ明るい雰囲気しよう、校内球技大会、音楽祭、弁論大会、写生大会などの秋の行事に、新しく文化祭が計画されています。生徒会は後期も三年生を中心に、残り少ない中学生生活を充実したものにしようとしています。

古びた校舎。けれど私たちはそんな学校に限りない愛着を持ち、完全無言清掃でみがきをかけています。いつも同じ顔をし、時として荒れ狂う自然にガンとして立ち向かってきた校舎。先輩も、そして、そのまた先輩も別れを惜しんできたこの学校に、私たちは今誇りを抱いています。私たちは、この飯樋中学校が大好きなのです。



ぼくの学校わたしの学校